

15th International Conference on Human-Computer Interaction 参加報告

首都大学東京 木見田康治

2013年7月21日から26日にかけて、国際会議の15th International Conference on Human-Computer Interaction (HCI International 2013) が米国ネバダ州のラスベガスにて開催されました。本国際会議は、「Human-Computer Interaction」と「Human Interface and the Management of Information」の2つを主要テーマとした複合会議である。

本会議では、まず、21-23日の3日間に渡り「Usability and UX: An integrated approach to design and evaluation」や「User-centered design and accessibility in real-world contexts」などの合計25種のTutorialが開催された。また、23日には、MIT Media Laboratoryの石井裕教授による基調講演が行われた。

続いて、24日から26日の3日にわたり Parallel sessions および Posters Session が行われた。各セッションは、前述の2つの主要テーマに加えて、「Engineering Psychology and Cognitive Ergonomics」や「Universal Access in Human-Computer Interaction」などの合計12種の幅広いテーマにより構成されている。例えば、「Human Interface and the Management of Information」では、サービスの生産性向上を工学的手法を用いて実現することを目的としたサービス工学や、eラーニングなどを通じて教育の質と効率の向上を図る教育工学に関する発表が行われた。

本会議では、Human-Computer Interaction に関する概念的な理論から、その実践まで幅広い研究発表が行われており、要素技術を提供する学問領域も多種多様である。今後は、Human-Computer Interaction における種々の問題に対して、多様な領域から技術・方法論を組み合わせることで問題解決を図る横断的なアプローチがより一層加速することが期待される。